

堀兼・入曽・狭山台エリア

狭山さんぽ道 Sayama Walk

あなただけのってあきの狭山を見つけよう



堀兼・上赤坂公園は日本女子サッカーリーグ加盟ASエルフェン埼玉の下部組織であるASエルフェン埼玉マリの活動拠点の一つになっています。

堀兼・入曽・狭山台エリアの名所と景観



祭神は木花咲耶姫命で、古くは浅間神社と称していました。同社の創建は諸説ありますが、堀兼の開発が始まった慶安三年(1650)頃と考えるのが妥当と思われます。朱塗りの立派な随身門は市内唯一で、狭山市指定文化財となっています。



建久2年(1191)鎮座と伝えられ、毎年10月に埼玉県西部地方を代表する郷土芸能「入曽の獅子舞」が奉納されます。



奈良時代の創建と伝えられ、社家は朝廷の命を受けて入間路の警備と七曲井の管理に従事したとされています。



創建年月は不明。天文2年(1533年)に中興開山されたといわれ、江戸時代まで御嶽権現(現在の入間野神社)の別当寺でした。天保4年及び明治38年の火災で四脚門と土蔵を残して全焼しましたが、翌年には仮本堂を建て、昭和32年大改装。毎年10月第3土・日の両日にわたり、南入曽の金剛院と入間野神社に入曽の獅子舞が奉納されます。



長野県小諸の「湯の瀬温泉」で見つかったそうです。



湯治に行ったお地蔵さん!

農産物直売所 あぐれっしゅげんき村

新鮮野菜や狭山茶、新米など地元農産物を豊富に取り揃え、手作り惣菜や焼き立てパンの販売、埼玉県産小麦を使用したうどん、旬の野菜を使ったカレーライス、狭山茶ソフトクリームなどが楽しめます。

〒350-1312 狭山市大字堀兼2085-1
☎04-2957-0831
■営業時間/◎4月~9月 9:30-18:30
◎10月~3月 9:30-17:30
■定休日/毎月第3水曜日 年末年始



真言宗の寺院で、本尊は木造釈迦如来坐像。「当山沿革史考」によると天正年間(1573~92)に創立されたようです。明治18年に火災で一部を除き焼失しましたが、明治20年に再建。



かつて日本一汚い川と言われた不老川土手沿いにある公園。川の浄化もすすみ、野鳥や、昆虫も多く観られ、公園には四季折々の花が咲いています。



武蔵野の面影を残す雑木林に囲まれた自然を生かした公園です。散策路は木立をぬって公園を一周できます。

いつまでも若くられる? 年とらず伝説の川

狭山市内を流れる不老川(ふろうがわ)は昔、節分の頃になると川の水が枯れてしまい、この川は年を取らない、取りたくない川と考えられ、別名「としとらずがわ」と呼ばれるようになったそうです。数多くのむかし話や伝説も語られており、その中でも一番



有名なのは「豆まきの晩に不老川の橋の下で一晩すごすと、としをとらない」と言われる「としとらず伝説」があります。 ※旧暦では節分・立春が年末年始にあたる

入曽駅東口周辺コース

徒歩約60分・約4.5km

- ⑤入曽駅東口 ▼約3分
- ①水野の庚申塔 ▼約6分
- ②金剛院 ▼約12分
- ③下水野の地蔵尊(化け地蔵) ▼約4分
- ④南入曽の山王さま ▼約15分
- ⑤常泉寺 ▼約7分
- ⑥野々宮神社 ▼約2分
- ⑦七曲井と常泉寺観音堂 ▼約1分
- ⑧入間野神社 ▼約2分
- ⑨夢地蔵 ▼約5分
- ⑥入曽駅東口

堀兼・入曽コース

徒歩約70分・約5.4km

- ⑤蕨下(はけした)バス停 ▼約18分
- ①堀兼神社 ▼約19分
- ②水野新田開発地 ▼約20分
- ③野々宮神社 ▼約2分
- ④七曲井と常泉寺観音堂 ▼約3分
- ⑤入間野神社 ▼約3分
- ⑥金剛院 ▼約5分
- ⑥入曽駅東口

◎コース映像と写真は西武文理大学サービス経営学科の有志の皆様にご協力いただきました。

にげみず「逃水の里」

昔この辺は一面荒野で大変水が少なく、米のとき汁を集め風呂を沸かしていたそうです。そのため「七曲井」や「堀兼の井」など深い井戸が掘られました。地名の由来は自然現象など諸説あるようです。



鎌倉街道の枝道があったことから、旅人の便を図るために掘られたとされている歴史ある井戸です。埼玉県指定文化財。



すり鉢形をした古代の井戸で武蔵野の歌枕として名高い「ほりかねの井」の一つ。平安時代にはすでにあったと考えられます。